

Title	総説
Sub Title	
Author	
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1998
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.43 (1998.) ,p.72- 73
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000043-0073

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

著 書 ・ 訳 書

- 笠原 忠. V. 免疫例題+ポイント基礎薬学 II, 99 年度版, 広川書店 p306-327 1998. 5
- 吉山友二. 薬と病気の本. (橋本信也編, 99 年版) 保健同人社, 東京, p2-10 1998
- 吉山友二. 薬物相互作用の理論と実際. 共立薬科大学生涯学習センター p1-60 1998. 5
- 松本佳代子. 薬剤師のための基礎演習. 共立薬科大学生涯学習センター p1-58 1998. 4
- 森 茂. 三浦 泉, 大久保一徳, 大内雅利, 福島紀子. 薬と社会と法 (改訂版) 法律文化社, 京都, p1-21 1999. 2
- 竹鼻 眞. ノックアウトマウス・データブック (黒川 清, 笹月健彦監修) 中山書店, 東京, p121-123 1998
- 中島恵美. 臓器・組織 (肝・腎・消化管以外) 分布過程における薬物相互作用のメカニズム. 癌化学療法時の薬物間相互作用 p81-92 1998
- 中島恵美. 抗癌剤の薬物療法. 最新医療薬学・ p136-155 1998
- 田村悦臣 (分担). 衛生薬学. 廣川書店, 東京, p77-152 1999
- 飯笹 久, 松島綱治. ケモカイン (宮島篤編) イラスト医学 & サイエンスシリーズサイトカインの機能を探る. 羊土社, 東京, p99-105 1998. 12
- 飯笹久, 松島綱治. IL-8 およびその関連遺伝子ジーンターゲティッドマウス (羅智靖, 徳久剛史編, 富岡玖夫監) 分子アレルギー学, メディカルレビュー社, 東京, p353-356 1998. 4
- 福島紀子. 平成 10 年度薬事関係法規. 共立薬科大学生涯学習センター p1-80 1998. 6
- 望月正隆. 有機薬化学. 丸善, 東京, 1998. 8
- 木村 都. 臨床検査値の読み方, 考え方. 共立薬科大学生涯学習センター p1-87 1998. 12
- 池田年穂. タダシの青春 西北出版 p1-136 1998. 12
- 池田年穂, 倉橋洋子. ハワイ物語-ジェシカ・サイキ短編集 II 西北出版 p1-196 1998. 8

総 説

Kanazawa H, Matsushima Y, Okano T. Temperature-responsive chromatography Trends in Analytical Chemistry 17, 435-440 1998

- 吉山友二. 薬物療法における時間薬理学的アプローチ. *Organ Biology* 5, 11-24 1998
- 吉山友二. 時間治療へ向けて. *ファルマシア* 34, 573-578 1998
- 吉山友二. 時間薬理と治療. *臨床医薬* 14, 1533-1537 1998
- 柴崎敏昭. 薬剤師による薬物療法. *管理基準生命とくすり* 14 巻 5 号, p5 1998. 9
- 柴崎敏昭. 薬物性腎障害. *臨床検査* 42 巻 10 号, 1135-1139 1998. 10
- 川島紘一郎. リンパ球におけるコリン作動性メカニズム. *BRAIN MEDICAL* 11, 34-42 1999
- 川島紘一郎. リンパ球のアセチルコリン受容体. *CLINICAL NEUROSCIENCE* 16, 1451 1998
- 飯笹 久, 松島綱治. ケモカインと炎症免疫反応. *炎症と免疫* 6, 310-317 1998. 5
- 飯笹 久. ケモカインノックアウトマウス—炎症・造血・発生とケモカイン—. *組織培養工学* 24, 466-469 1998

雑誌記事等

- Inami K, Okochi E, Mochizuki M. Chemical models for cytochrome P450 as an alternative of metabolic activation system in mutation assay of environmental carcinogens. *Researches Related to the UNESCO's Man and the Biosphere Programme in Japan 1998-1999*, 65-68 1999
- 横山祥子. キチン・キトサンに関する特許動向. *材料技術* 16, 288 1998. 9
- 笠原 忠. 研究室レポート「サイトカインの産生とその遺伝子発現の機構を解明する」. *新宿セミナー PROGRESS* 7 : 38-39 1998
- 沢田純一, 笠原 忠. 神経系機能分子の同定技術及び生理機能の解析技術の開発 ヒューマンサイエンス基礎研究事業, 官民共同プロジェクト研究報告, p282-288 1998
- 笠原 忠. 研究戦略「ケモカイン産生制御機構を追究」. *薬事日報* 9086 号 1999. 1
- 江原吉博. ミュージカル・ショーとして満点. お話に物足りなさ, *げきじょう* No. 49, p85 1998. 4
- 江原吉博. 座談: パパたちのホンネ. *げきじょう* No. 50, p85-89 1998. 7
- 江原吉博. 東京芸術座「ブラボー! ファーブル先生」. *げきじょう* No. 50, p90 1998. 7